

質 問 順 位	2	質 問 者	安 樂 良 幸 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市長の基本姿勢	1. ふるさと納税について	1. 本市における貴重な自主財源であるふるさと納税は、昨年度に引き続きお米の返礼品が好調であると聞いていますが、現状における寄付実績及び年末に向けた寄付額の予想推移について伺います。		
		2. 総務省が昨年6月に発表したふるさと納税制度見直しの一環でポータルサイトを通じた寄付者への金銭的価値のあるポイントや特典の付与、いわゆるふるさと納税のポイント制度が本年10月1日から禁止されますが、本市におけるふるさと納税に及ぼす影響と今後の対応などについて伺います。		
2. 教育行政	1. 市内高等学校の今後の在り方について	1. 厚生労働省が発表した2024年の日本の出生数は68万6,061人であり、前年から約4.1万人減少し、初めて70万人を下回るなど、少子化が急速に進んでいるのが現状です。空知管内においても例外ではなく、この傾向は今後も継続することが予想されています。 本年6月に北海道教育委員会から令和8年度から10年度までの公立高等学校配置計画案が示され、空知北学区においても11年度以降の見通しとして、中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数の多い滝川市を中心に、周辺市町を含めた公立高校全体の配置と在り方について検討が必要と示されています。以上のことを踏まえ、滝川市教育委員会として、将来を見据え市内に所在する高等学校の今後の在り方をどのように考えているのかを伺います。		